
新 入 社 員 研 修

問題の本質を見抜く力

～ 表面に惑わされない“深い視点”を持つ～

株式会社〇〇 人事部

目次

01 オープニング

02 チームワークの重要性

03 コミュニケーション基礎
(伝え方・受け止め方)

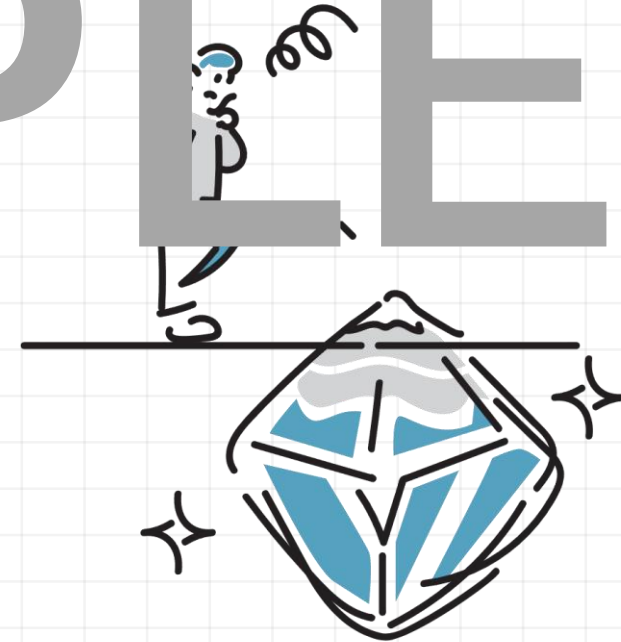
04 ロールプレイ演習

05 まとめ・質疑応答

こんな経験はありませんか？

頑張ったのに
うまくいかなかった...
なぜ失敗したのか
わかっていないまま...

本当の原因は
“見えていない”場所にある



このセミナーの目的

表面的な出来事に惑わされず、
本質を捉える視点を養う

「なぜ？」を繰り返すことで
構造や原因を考える

自身の過去経験を振り返り、
洞察力を高める



なぜ“本質”を捉える必要があるのか？

表層的な課題

5S改善がうまくいかない ▶ 掃除当番の頻度を増やす

本質的な課題

ルールが曖昧
誰も結果を確認してない
そもそも忙しすぎて掃除する
時間がない

POINT

本質を捉えて対策を打てれば、より少ない労力での確に問題を解決できる可能性が高まる

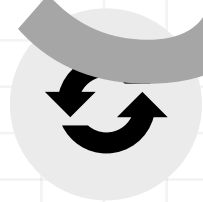
表面に惑わされない視点

“表面だけで判断しない”ための3つの視点



「なぜ？」を繰り返す

問題の真因を深掘りして本質に迫る（5回「なぜ？」、本原因）



視点を切り替える

関係者それぞれの立場で物事を考える（自分／相手／上司／お客様視点）



事実と解釈を分ける

思い込みや感情に左右されずに事実に戻れる（客観／主観／冷静さ）

ワーク① - 浅い対応と本質的対応

「浅い対応」と「本質的対応」の違いを体感しよう

「コピー用紙が空のまま放置される問題」

ある朝コピー機を使おうとした所、社員のAさんが、用紙が切れているのに気づきました。しかしAさんは「自分の仕事じゃないし、誰か気づいた人がやるだろう」と思い、そのままにします。次にコピー機を使おうとしたBさんは、用紙切れに慌てて倉庫から紙を持ってきて急いで自分のコピーを取りますが、自分が使う分だけ補充して終わりにします。

その後もコピー機のトレイはほぼ空のまま...という状況です。